

# ●子ども食堂（地域食堂）

⇒子どもの貧困や孤食の防止等、対象を限定しない子どもの育ちの支援の場を広めるプロジェクト

施設等が提供可能な場所・食品・人材等を活用し、地域ぐるみで子どもの見守り・育ちを支える居場所づくりとともに、家庭の困りごと等の支援が必要な場合には、社協のコーディネートや社会福祉法人・地域のネットワークへつなげる仕組みを広げる。



大分県社会福祉協議会



↑矢掛町中川地区 子ども食堂



↑笠岡市社協 子ども食堂

現場からの発信

「人と人がつながる場所」  
～法人の強みを生かして、子どもの強みを引き出す～

社会福祉法人 クムレ  
児童家庭支援センタークムレ

社会福祉の進化に伴い、福祉サービスも多様化・複雑化する中で、既存の制度や仕組みの支えられだけでは対応が難しく、福祉社会福祉法に基づく「地域における公益的な取組の委託や協働による、高い公益性を有する社会福祉法人が法人の本任に就き、他の事業主体とは異なる形で、福祉サービスを提供する地域社会に積極的に貢献していくこと」が求められています。今号では、社会福祉法人クムレの児童家庭支援センターが、児童家庭支援センターの取組について、岡本所長と専任スタッフをお話を伺いました。

法人の強みを生かして  
倉敷市水島地区に子ども食堂「ひだまりカフェ」がオープンしたのは、平成29年の4月。社会福祉法人クムレにある児童家庭支援センター（以下、児童センター）が中心となり立ち上げ、毎月第3土曜日に開催しています。社会福祉法人クムレは、児童養育分野の事業を中心に、倉敷市内で展開しており、児童センターが利用しています。その目的は、いる世帯に対して、法人の強みを生かして取り組むことは何かを考えたところから動き出しました。

いろいろな人がつながる場所  
ひだまりカフェは、この場所を介して、いろいろな人がつながる場所となっています。困りごとを抱える

子どものニーズの面をうつける  
児童センターを利用する子どもは、思春期の13～15歳あたりの子どもが多く、授業についていけない子どもや学校でも孤立しがちになり、どうしても休みがちになってしま

▼子どもが作ったメニューボード  
本日のメニュー  
お肉のハンバーグ  
お弁当いしや  
チョコフォンデュ

子どもが作ったカフェ内の様子

岡山県社会福祉 2018 April

(社福)クムレ ひだまりカフェ  
〈岡山県社協機関紙〉